

新日鐵住金黒煙発生事故 国会議員団調査に！

25日、佐々木憲昭衆院議員、井上さとし参院議員、もとむら伸子参院選挙区候補は、急きよ、東海市へ。3人は新日鐵住金名古屋製鉄所の今年入り4回もの黒煙噴出事故に対する聞き取り調査を行いました。辻井・坂両東海市議も同席し説明などしました。

午前東海市役所で、総務部・企画部・環境経済部・消防本部の部長などと懇談。50年も使っている設備があるほどで徹底した原因究明が必要です。

午後は、地元のみなさんとの懇談がもたれ、真っ赤な火柱があがり黒煙が立ち上った生なましい体験やたび重なる事故への怒り、党国会議員への要望など語られました。

その後、県庁で環境大気環境課、環境活動推進課の説明を受けました。県としては、「事故と認識している」「住民に迷惑をかけている」と述べ、新日鐵住金が「通常の処理をしている」との説明を批判。恒久的な措置を立てさせる必要性が強調されました。



6月議会

日本共産党提出の 2つの意見書否決！

24日、6月議会の最終日、20人の傍聴者が見守る中、日本共産党が提出した二つの意見書が否決されました。参加者らから「市民の立場に立っていない」と怒りの声があがっています。

一つは「憲法解釈の変更による集団的自衛権の行使容認に反対する」意見書です。集団的自衛権を容認すれば同盟国アメリカがする戦争に、日本が攻撃されていないのに巻き込まれ殺し、殺される国になる。と容認しないよう国に求めています。

反対討論に立った新緑水クの議員は、「解釈だけで、憲法を改正するのではないからいいのではないか。こうせざるを得ないほど差し迫ってきているので、やむを得ないなど」と述べ、新緑水ク、市友会、公明党が反対し否決されました。

賛成4人…辻井・坂（日本共産党）、村瀬・村瀬（子供たちに青い空）の各議員

二つ目は「雇用の安定を求める」意見書です。「解雇の金銭解決制度」や「ホワイトカラー・エグゼンプション」の導入「限定正社員」の普及など行わないことや直接雇用への誘導などを国に求めています。

反対討論に立った公明党議員は、「選択肢を増やすためにホワイトカラーエグゼンプションを導入しようとしているなど」と述べ、新緑水ク、公明党が反対し否決しました。

賛成9人…辻井・坂（共産党）、村瀬・村瀬（青い空）、蔵満・川崎・工藤・斉藤・真下（市友会）

「戦争する国」許さない！

みんなでリレートーク

「解釈で9条を壊すな！東海市連絡会」主催で、「解釈で集団的自衛権の行使認めない」のリレートークを太田川駅前広場で13日と21日の2回行いました。1回目は20人、2回目は16人の参加者が、平和を壊される危険性、戦争はもういやだ、何としても集団的自衛権の行使容認の閣議決定を阻止したいなどの思いを次々と訴えました。



「戦争を知らない子供たち」を有志で歌いました。



シール投票には自分たちの将来を心配してか、子供たちが興味をもって集まってきました。